

# 神戸市立有馬小学校 学校評価報告書

校園長名 校長

記入者名 校長

り学 の校 目づ 標く	「明るい笑顔のあふれる学校」 ➡ 創立150周年を迎える中、子供たちは勿論のこと、教職員・保護者・地域の方々が、日々、笑顔で過ごせる学校をつくる。
----------------------	---

内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
----	---------	-------------	------------------	----------------------------------	------------------------------------

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい						
育てたい 子供の姿	○思いやりのある子 ・友だちと力を合わせ、達成したことを共に喜ぶ。 ・個性を認め合うことができる。	小規模校故に隣接学年一緒に学習する機会や、全校生での行事が多い。そんな中、周りの友達のよい点を見つけ紹介する活動を続けている。	3	本校は学童がないこともあり、全校生がほぼ毎日下校時刻の16時まで一緒に遊んで過ごす。当然異学年との触れ合いも多いが本当にみんな仲良く過ごせている。	のびのび広場や、休日の子供食堂で見ても全校生の中がよく微笑ましい。上級生は下級生の面倒をよくみてくれている。	異学年・全校生での活動を大切に、全校生での仲間づくりを次年度も進めていきたい。
	○ともに学び合う子 ・基礎的な学力が身につけている。 ・自ら考えようとする。 ・自分の考えや思いを素直に表現する。	朝の学習では「漢字・計算」を中心とした基礎学力の定着に努めた。また、放課後学習は全学年、週2日実施した。研修では児童の表現力(書く力)の向上を目指した。	4	一人一人にきめ細やかな指導を続けた結果、学力調査でもよい結果を得ることができた。	本校の魅力をもっと発信すべきである。学習面・生活面で手厚い教育ができていないのは意外と知られていないのではないかと。	小規模校ならではのきめ細やかな学習を続け、児童の学力向上に努めたい。
	○たくましい子 ・基本的な生活習慣を身に付ける。 ・進んで体を動かす。	運動会での全校生での一輪車演技や秋の卓球教室、冬のなわとびタイムなど全校生の体力向上に努めた。	4	基本的な生活習慣を身に付けさせるための「5分前行動」や「黙々掃除」なども定着している。	少人数の中で育ったからといって、中学校にいったら困ったという話をきいたことがない。今後も一人一人の力を高めてほしい。	小規模校だからこそ、「自分の考えをしっかりともち、人前でもきちんと話せる子」を育てていきたい。
全市的に 推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組み	少人数だからこそ、全職員が全児童一人一人の様子を、常にしっかり把握することに努めている。	4	今年は3回、児童からいじめ(いやなことをされた)の相談を受けたが、いずれも早急に対応し、解決した。	今後も仲良く過ごしてほしい。	「明るい笑顔のあふれる学校」を目指す中、全職員で児童一人一人をしっかり見守り、いじめの未然防止に努めたい。
	②不登校支援の取組み	「明るい笑顔のあふれる学校」を目指す中で、一人一人が過ごしやすい環境を提供し、不登校の未然防止に努めた	4	全校生19名が朝から揃う日がほとんどで、幸いにも不登校傾向児童はいない。	素晴らしいことだと思う。今後も取組を続けてほしい。	学力保障・人間関係を含め、児童一人一人が過ごしやすい環境を提供したい。
	③教職員の業務改善	職員の減中、持続可能な有馬教育を目指して、行事や職務の精選を行い、効率化を図った。	4	小規模校だからこそ、教員同士、忙しい時はお互い気軽に助け合うという風土を、今後も大切にしていきたい。	今後も、余裕を持って、子供たちと接することができるようにしてほしい。	次年度は総務が配置されるが、一人一人の校務分掌や仕事内容などを見直し、業務改善を進めたい。
	④「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	学校からの急ぎの連絡などで「すぐ-る」を効果的に活用した、またHPは頻りに更新し、地域や保護者の方に学校の様子を発信した。	4	発信者(教頭やHP担当)も発信の操作に慣れ、こまめに情報発信できている。そのことが学校と保護者の信頼関係構築につながっている。	ホームページで学校の授業や行事の様子がよくわかる。	学校からの手紙も、少しずつ「すぐ-る」で発信するようになっていきたい。
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	昨年度、代表委員会で学校の決まりの見直しを行った。また、年度当初には各クラスで一つ一つのルールや決まりの内容や必要性を確認をした。	4	決まりやルールは児童や保護者に定着し、きちんと守られていると感じる。	今のまま続けられるとよい。	学校生活のルールや決まりは適時見直すとともに、全職員共通理解のもと指導にあたりたい。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある